



令和4年度

1ヶ月が過ぎた 茗台中学校



早いもので、令和4年度がスタートして一ヶ月が経ちました。新しい気持ちでスタートした思いは、今でも変わりはありませんか。「だれもが昨年度までの反省を生かして、新たな気持ちで新学期を迎えて欲しいと願っています」と、4月の茗台中だよりに書きました。4月の茗台中生の誰もが、目を輝かせて過ごしている姿に、校長としてもとても安心して過ごすことができました。1年生から3年生まで、玄関や廊下で会うたびに、元気に笑顔で挨拶をしてくれ、とても嬉しく思っています。また、校長室に来る来賓の方々が、口々に「とても気持ちよく挨拶をしてくれる学校ですね」といってくださいました。何よりも嬉しい言葉です。茗台生一人一人が、同じ思いを持ち、心からお互いを大切にしようとする気持ちを持つことが大切です。これからもこの思いを持ち続けてもらいたいと思います。



4月の後半から、さまざまな「みんなのワクワクを実現する」取組が始まっています。学年始めのレク大会（1年～3年）、生徒総会、修学旅行（3年）、運動会練習など、クラスがまとまり団結して取り組まなければならないものも多くあります。茗台中生には、恥ずかしがらず、様々なことに取り組んで欲しいと伝えています。「失敗を恐れず、失敗をしたら反省して、次に生かす」、そんな気持ちで取り組むことが大切です。失敗したらどうしよう、間違ったらどうしようと考えていたら何もできません。茗台中の教職員と共に反省し、次の方法を一緒に考え、その先に生かしていきたいです。



今後も教職員との連携を密にし、保護者の皆さまと協力しながら生徒の育成を進めてまいりたいと思っております。御理解と御協力をお願いします。

いのちと人権を考える月間

5月は、「いのちと人権を考える月間」（第1回）です。目的は、子どもたちが、自尊感情や自己肯定感を高め、自分や他者の命や人権を大切にしようとする心や態度を育てる取組の充実を図り、取組状況の点検を行いながら、現状や取組の効果等を把握することとしています。

「人間尊重」という言葉の中には、「生命尊重」「人格尊重」「人権尊重」の3つの尊重があります。生命は、何にも変えることができません「生命尊重」。また、人の心や体を傷つけるような言動やいじめ、嫌がらせや暴力は、人が人として生きていく権利を侵害す

るものです「人権尊重」。そして、人はかけがえのない存在として尊重し、決して物扱いなどをしないことです「人格尊重」。

東京都は、人権課題として、「女性」「子供」「高齢者」「同和問題」「アイヌの人々」「外国人」「HIV感染者」「犯罪被害者やその家族」「その他の人権課題」を示しています。本校でも十分に考えていかなければならない課題がたくさんあります。よりよい茗台中学校にするために、茗台生全員で考える月間にしましょう。